

「第16回アジア女性会議 北九州」事業報告

【第16回アジア女性会議 北九州】

(1) 概要

「第16回アジア女性会議 北九州」は、北九州とアジアをつなぐ国際会議として、「歴史を開いた女性たち」をメインテーマに、海外からインドネシア、中国、カンボジア、イタリアのパネリスト4名、国内から17名のパネリストを迎えて、平成17年11月5日(土)から6日(日)までの2日間に亘り、北九州市で開催された。

今回は、北九州市女性史「おんなの軌跡・北九州」の刊行を記念して、日本を含むアジア地域において、これまで歴史の狭間に埋もれていた女性の生活や活動に焦点をあて、歴史に先駆けた女性の生き方を通して、女性の地位向上のための取り組みの歴史を検証し、21世紀のより良い男女共同参画社会の実現に向けた行動のあり方について議論した。

本会議の1日目は、記念講演、シンポジウム、3分科会、全体会で構成され、会議の成果を声明文にとりまとめた。

2日目は、当財団の主席研究員2名、客員研究員2名及び海外から3名の共同研究員を招いて研究活動報告を行い、日ごろの研究成果を市民に報告した。また、アジアの共生とジェンダーを結ぶ試みとして、北九州地域で活動するアジア共生学会との共催で円卓会議「アジアの共生、男女の共生」を開催した。

会議参加者は1,208名、総事業参加者は約10,900名であった。

(2) 記念講演

日時 平成17年11月5日(土)10:00~11:45

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2Fホール

参加者 512人

テーマ 「歴史を拓いた女性たち」

対談：樋口 恵子(評論家、高齢社会をよくする女性の会理事長)、有馬 稲子(女優)

(3) シンポジウム

日時 平成17年11月5日(土)12:45~14:45

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2Fホール

参加者 322人

テーマ 「歴史を開いた女性たち」~おんなの軌跡・アジア~

コーディネーター 樋口 恵子(評論家)

パネリスト ソクア・ムー・レイパー(カンボジア/元女性・退役軍人省大臣
カンボジア初のNGO「ケマラ」創設者)

シャムシア・アーマッド(インドネシア/前国連女性差別撤廃委員会委員)

折井 美耶子(総合女性史研究会)

(4) 3分科会を同時開催

日時 平成 17 年 11 月 5 日 (土) 15 : 00 ~ 17 : 00

第 1 分科会

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 5F 小セミナールーム

参加者 30 人

テーマ 「働く」～仕事の場を拓いた女性たち～

コーディネーター 堀内 光子 (国際労働機関(ILO)駐日事務所駐日代表)

パネリスト 中野 麻美 (弁護士、派遣労働ネットワーク代表)

秋山 典子 ((株)損保ジャパン人事部女性いきいき推進グループ課長代理)

安部 高子 ((株)ケイ・ビー・エス代表取締役社長)

第 2 分科会

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 5F 大セミナールーム

参加者 51 人

テーマ 「学ぶ・教える」～教育を拓いた女性たち～

コーディネーター 織田 由紀子 ((財)アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員)

パネリスト シyamシア・アーマッド (インドネシア/前国連女性差別撤廃委員会委員)

天野 正子 (東京女学館大学国際教養学部教授)

寺坂 カタエ (福岡県初の女性中学校長)

第 3 分科会

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 2F ホール

参加者 121 人

テーマ 「はぐくみ・ささえる」～福祉を拓いた女性たち (保育・介護) ～

コーディネーター 篠崎 正美 ((財)アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員、
熊本学園大学教授)

パネリスト ソクア・ムー・レイパー (カンボジア/元女性・退役軍人省大臣、
カンボジア初のNGO「ケマラ」創設者)

樋口 恵子 (評論家、高齢社会をよくする女性の会理事長)

藤岡 佐規子 (北九州市保育所連盟会長)

(5) 全体会

日時 平成 17 年 11 月 6 日 (土) 17 : 15 ~ 18 : 00

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ” 5F 大セミナールーム

参加者 65 人

司会 三隅 佳子 ((財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長)

提言とりまとめ 原 ひろ子 ((財)アジア女性交流・研究フォーラム会長、
城西国際大学大学院人文科学研究科客員教授)

報告者

第1分科会：堀内 光子（国際労働機関（ILO）駐日事務所駐日代表）

第2分科会：織田 由紀子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

第3分科会：篠崎 正美（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員、
熊本学園大学教授）

（6）研究員活動報告会

日時 平成17年11月6日（土）13：00～17：00

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5F大セミナールーム

参加者 56人

報告内容

「介護における海外移住労働の展開をめぐる政策と実態についての調査研究」

篠崎 正美（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員、熊本学園大学教授）

フランチェスカ・ベッティオ（イタリア/シエナ大学経済学部教授）

「権力をよりどころにするアプローチの展開とアジアの女性のエンパワーメント」

橋本 ヒロ子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム客員研究員、十文字学園女子大学教授）

三輪 敦子（（財）世界人権問題研究センター）

「大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の企業内教育と労働実態」

平田 トシ子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム客員研究員、九州女子短期大学教授）

何 燕侠（中国/大連大学性別研究中心教授）

「持続可能な開発におけるジェンダーの視点」

織田 由紀子（（財）アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員）

（7）併催事業

パネル展「おんなの軌跡～アジア週間（婦人週間）と女性のあゆみ」

日時 平成17年10月28日（金）～平成17年11月6日（日）9：30～21：30

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階 交流広場～2F スロープ

内容 日本で女性が初めて参政権を行使した昭和21年4月10日を記念して、昭和24年以来、労働省では、この日に始まる1週間を「女性週間」（平成9年まで「婦人週間」）に定め、女性の地位向上のための啓発活動を展開してきた。法律や制度が整備され女性の社会進出が活発になる一方、人々の意識の中には依然として男女の能力や役割に対する固定的な考えが残っており、女性週間ではそうした固定的な考え方を払拭し女性の地位向上を図るため、第1回からテーマを設定し啓発活動を行ってきた。そのテーマの変遷はそのまま女性の地位向上のあゆみと重なり、女性週間の変遷をポスターや関連資料でたどりながら、この間の女性のあゆみや行政の取り組みについて振り返った。

参加者 9,415人

人権教育パネル展示

【協賛】：北九州市同和教育研究協議会

【協力】：北九州人権ウィーク2005実行委員会、柳井美枝、福岡県人権研究所

日時 平成17年10月28日（金）～平成17年11月6日（日）9：30～21：30

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F 交流広場～2F スロープ

内容 北九州人権ウィーク2005実行委員会とオモニの識字教育に取り組む柳井美枝氏との共同によるパネル展示展。

教育現場で、ジェンダー（社会的・文化的に規定された性差のこと）問題、在日外国人問題および同和問題など、様々な人権課題に取り組む人びとの活動を紹介するパネル展示展。とりわけ、日本では遠い開発途上国の話と思われがちな識字教育に焦点をあて、私たちの身の回りで行われている在日韓国女性女性の識字教育から、歴史と女性の問題を考え直し、地球市民としての活動のあり方を考える機会を提供した。

ワークショップ

日時 平成17年11月3日（木）

第1部 14：00～17：00 ファシリテーター：柳井美枝 福岡県人権研究所

第2部 15：30～17：00

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F 交流広場、5F 大セミナールーム

内容 実際に識字教室で学び・教える市民が、展示パネルを使って、ワークショップを開催した。交流広場で行われる本ワークショップには、教師や人権フォーラムの関係者が参加。第一部は公開とし、一般市民も参加した。

参加者 83人

アジアシネマ

1) サンダカン八娼館 望郷（日本、1974 キネマ旬報1位 原作：山崎朋子）

日時 平成17年11月2日（水）18：30～20：30

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2F ホール

内容 別添チラシ参照

参加者 103人

2) アフガン零年（アフガニスタン＝日本＝アイルランド、
2004年ゴールデングローブ賞外国語映画賞 ほか多数受賞）

日時 平成17年11月3日（木）18：30～20：30

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2F ホール

内容 別添チラシ参照

参加者 91人

円卓会議「アジアの共生、男女の共生」

日時 平成17年11月6日(日) 10:30~12:00

会場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5F 大セミナールーム

内容 アジアの共生とジェンダーを結ぶ試みとして、北九州地域で活動する(財)アジア女性交流・研究フォーラムの研究者とアジア共生学会の会員による円卓会議を開催した。

参加者 51人

アジア共生学会

小林 慶二	会長	伊藤 豊仁	理事
半田 百合枝	会員	趙 青	会員
男澤 智治	事務局	金 恩亨	会員

(財)アジア女性交流・研究フォーラム

原 ひろ子	(財)アジア女性交流・研究フォーラム会長、 城西国際大学大学院人文科学研究所客員教授
三隅 佳子	(財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長
篠崎 正美	主席研究員、熊本学園大学教授
橋本 ヒロ子	客員研究員、十文字学園女子大学教授
三輪 敦子	共同研究者、(財)世界人権問題研究センター
平田 トシ子	客員研究員、九州女子短期大学教授
何 燕侠	共同研究者、大連大学性別研究中心教授(中国)
織田 由紀子	主席研究員
堀内 光子	国際労働機関(ILO)駐日事務所駐日代表
シャムシア・アーマッド	前国連女性差別撤廃委員会委員(インドネシア)
フランチェスカ ベッティオ	共同研究者、シエナ大学経済学部教授(イタリア)
エルヴィラ ギャラン	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター